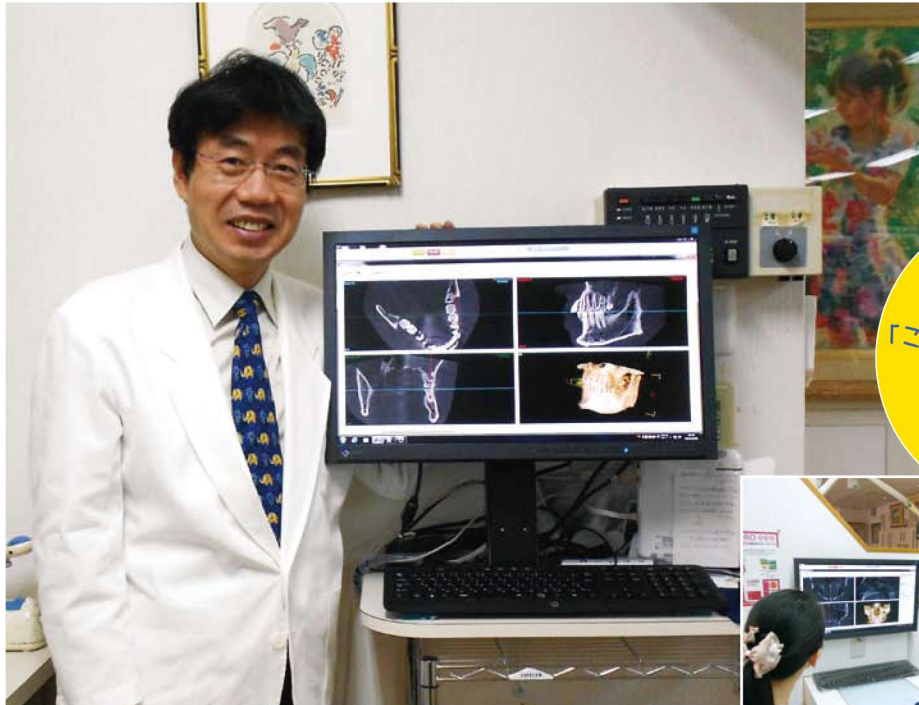




NAOMI-CT導入レポート

インプラント重視だったので、このサイズが欲しかった。

小寺歯科医院(兵庫県三田市) 小寺 修院長



患者さんから
「ここまで見えるんですか？」
と、驚かれます
😊



管球も本体も *Made in Japan*

NAOMI-CTは価格と、広い撮影範囲がすごく魅力だと思います。コンピームCTの中でもお手ごろ価格で、しかもφ160×H83で撮影できるものには他にはないです。管球も本体も *Made in Japan* だというのも魅力ですね。また、口腔内写真、デンタル、パノラマ、CT、すべての情報が一括管理出来るので、知り合いの歯科医にもすごくおすすめしたいです。CTを導入したかった一番の理由は、インプラントの術前診断、およびインプラントのメンテナンスのためです。そうなってくると、ある程度FOVが大きい方が良いです。私としてはインプラント重視だったので、このサイズが欲しかったんです。

二次元での想像と実際の三次元との大きな違い

上顎骨の骨折は診断が難しく、パノラマ画像では分かりづらい場合があります。CTなら折れている部分を確実に確認する事が出来ます。患者さんにビジュアルで見せられるので、症状について納得してもらえます。φ160×H83というサイズだからこそ、左右が見られ正常

側と見比べる事ができ、状態が一目瞭然。二次元(レントゲン)から頭の中で再構築して三次元の画像を想像するのと、実質的に三次元画像を目で見るのとは、思っている以上に大きな違いがあります。CTでみると「ここまでだったのか」と驚かされます。自分が見て分かることと、それを患者さんにビジュアルとして見せられるというのはすごくメリットのあること。また、メタルアーチファクト軽減機能も入っている、診断に役立っています。

座位タイプだから、高齢者にも優しい

患者さんからは「ここまで見えるんですか？」と驚かれます。座位タイプのCTなので、高齢の方に「座れて楽だわ」と言われます。スタッフからは撮影時のポジショニングがしやすくなったと好評です。画像を見て過剰歯が分かりやすくなったとも言われます。また、近所の歯科医からCT撮影の依頼を受けるようになりました。シミュレーションソフトとの相性も良いですね。今後はさらにCTの機能を充実していった欲しいです。そういう現場の声を生かした対応は、*Made in Japan* のアールエフズだからこそできる事だと思っています。